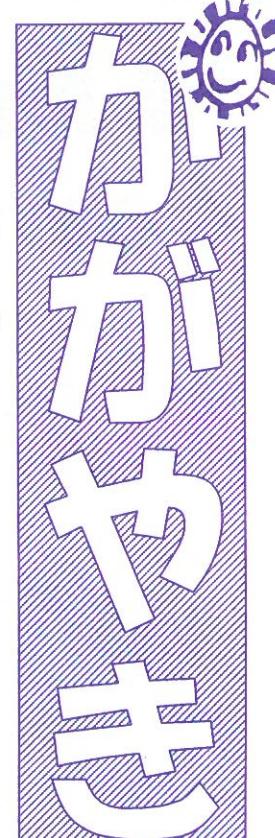




医療生協への意見・要望 聞かせてください



くるめ医療生協の活動のまとめや次年度の方針を決定する通常総代会が6月27日に開催されます。

例年は総代会に向けてエ

リア・ブロックごとに総会を開催し、組合員の意見や要望などを出してもらっていますが、現在の状況では多くの人が集まりエリア・ブロック総会を開催するのは困難な状況です。しかし、より多くの組合員の意見を反映させるために、今回は次の場合でエリア・ブロック総会を開催し意見・要望を集める予定です。

①エリア・ブロック総会はウェブ開催を基本とします。積極的に参加をお願いします。

②理事会で論議した「2020年度方針(案)」の概要版を「かがやき4月号」に掲載し、より多くの組合員に届けます。またホームページにも掲載します。

くるめ医療生協

★メールアドレス honbu@kurumeiryou.or.jp

★電話 0942(21)8300 ★FAX 0942(22)3239

第27回通常総代会の案内

新型コロナウィルス感染拡大防止のため

書面議決を中心に行います

日時：2021年6月27日(日)10:00

会場：久留米リサーチパーク 研修室A(予定)

総代立候補について

第27回通常総代会における総代の立候補を受け付けます。立候補を希望する組合員は立候補届出用紙に必要事項を記載し、4月30日(金)までに理事または各事業所へお届けください。なお今回の選挙区と選出数は下記の通りです。

選挙区名	総代選出数
第一選挙区 久留米ブロック	74名
第二選挙区 浮羽ブロック	9名
第三選挙区 小郡三井ブロック	3名
第四選挙区 八女筑後ブロック	14名

③(案)に対する意見・要望はメール・FAX等でも受け付けますし、クリニック窓口にも受付箱を設置します。

コロナ禍の中で、タブレットの活用など新しい活動のあり方を模索しながら、くるめ医療生協の事業と組合員活動の力を合わせてくるめ医療生協の理念「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」の実現に向け、活動をすすめていきましょう。

くるめ医療生協の活動のまとめや次年度の方針を決定する通常総代会が6月27日に開催されます。

発行
くるめ医療生協
久留米市南
2-5-12
TEL0942-21-8300

組合員数
4,544世帯
平均出資額
25,649円
(1月31日現在)
年12回発行



LINEでお知らせ！機関紙「かがやき」

機関紙「かがやき」は、組合員のみなさんの手配りによって、お届けしています。ただし、お近くに配達員(かがやきメイト)がいない場合は、毎月のお届けが困難で、年に2回郵送しています。住所変更の際にはぜひお知らせください。

なお、くるめ医療生協のホームページに毎月機関紙「かがやき」を掲載していますので、スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。くるめ医療生協の公式LINEに登録いただると、発行のたびにお知らせします。ぜひご登録ください。



明日を信じる

癌に侵された65歳の医師
が「コロナで命が選別される
ときは若者に治療をゆずる」と宣言した▼今、医療従事者の皆さんは命がけで人命救助の仕事をされている。高齢者の私に出来ることはコロナにかかるないようにする事である▼子どもたちは学校でどうすごしているのだろう。静かな給食時間、子どもの声が聞こえない町の不気味さ。休業の張り紙が増えた商店街▼誰もが早くコロナの収束を願っている。食べていくためにはコロナだからといって休むこともできない人もいる▼政府は補償もせず、仕事をするなという。従わなければ罰だつて！これをきいた時はコロナが手錠をかけられている漫画が思い浮んだ▼夜の外食は制限しながら自分たちは平気で深夜まで外食、4人以上の会食は制限し、政治資金集めのパーティを開く政治家達▼地球温暖化と相まって人類の危機だというに▼そんな中、国連で核兵器禁止条約が批准された▼人類は生き延びる知恵と力をもつていると私の心は少し明るくなつた。

(国分エリア)

Y・H

かすり

福島第一原発事故から10年 くるめ医療生協理事会は以下の決議をしました

2011年3月11日の東日本大震災を機に起きた福島第一原発事故は、原発と人類は共存できないことを示した。同事故により、自然環境の破壊、地域の農林水産業、観光業そのたの産業の壊滅、広大な地域の人々の避難、地域の人々とのつながり、文化等、何世代にもわたって築いてきた人間生活のあらゆることが根こそぎ失われた。初期に16万人の避難者がおり、現在も数万人の人々が避難生活を余儀なくされている。100万人に1人といわれる子どもの甲状腺がんにつき、事故当時の福島県内の200人を超える子どもに甲状腺がん及びその疑いが見つかっておりこれは5000人に1人という高い割合となる。除染を進めても効果は限定的で広大な森林の除染はできていない。そのような中で避難指示の解除政策、賠償及び支援打ち切り政策、帰還促進政策が進められているが、子どもを持つ世帯を中心として帰還はあまり進んでいない。放射能に対する不安、インフラの整備が不十分、長い避難生活のため他地域で基盤ができてしまっていることなどが理由と言われている。これが事故から10年の現実である。

そのことを踏まえ、「フクシマを2度と繰り返さない」という社会的合意を達成するには、国と東京電力は①加害責任を認め真摯に謝罪すること、②福島原発事故前の現状の回復と環境汚染対策をすること、③加害責任を踏まえた賠償指針の見直しによる損害の完全賠償すること、④追加被ばくによる健康被害のリスクの回避・低減に向けて医療・健康管理について万全の対策を講すべきこと、⑤福島原発事故によってそれまでの生業と生活を破壊された地域と住民が事故前の生活を再建するための万全の措置を講ずること、が絶対に必要である。

また、原発の危険性は、地震や津波にとどまらず、火山の破局的噴火、落下破碎物の影響、テロ、水蒸気爆発など多岐にわたっている上、一旦過酷事故が起こった場合に実効的避難ができないことにも表れている。コロナ禍を含めた複合災害下で実効的避難が不可能であることは一層明らかになった。

よって、できる限り早急に、原発への依存をやめ、原発を廃炉とすることを求めるものである。

以上決議する。

2021年1月16日

くるめ医療生活協同組合

署名に取り組んでいます

★原発を廃止し、再生可能エネルギーに転換する

原発ゼロ基本法の制定を求める請願署名

人間が最後までコントロールできない核エネルギー発電(原発)ではなく、再生可能エネルギーへの転換を日本政府に迫りましょう。

署名用紙はクリニック南町や本部、虹のセンターに準備しています。



これまでの署名到達 (2月16日現在)

	目標筆	到達	締切日
「STOP 介護崩壊」新型コロナ対策の強化、介護報酬の引き上げ、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険制度の抜本改善を求める請願 高齢者の医療費助成をやめさせぬ特願署名	200	681	2020/12/31 終了
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るために国会請願署名	320	652	2021/3/25
75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名	150	218	2021/3/25
唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名	400	50	2021/12/25
原発を廃止し、再生可能エネルギーに転換する原発ゼロ基本法の制定を求める請願署名	400		2021/10/25

この間みなさんにご協力いただき、たくさんの署名が集まっています。目標を達成した署名も、締切日までは引き続き集めています。

本部☎(0942)21-8300



組合員さんの声

「機関紙かがやき」を読んで…



*お料理コーナーはとても参考になります。切り取って見える箇所に貼っています。(Sさん)

*クイズ等とは無縁だったが、読めばわかるならと挑戦。ささやかな楽しみができた。(Eさん)

*コロナ禍の中、活躍されている姿を見て、私も勇気と希望の年にしよう！と思思います。(Tさん)

*1月号の武内先生の「すべての人、すべての生き物の命が輝く社会」が一日でも早く来ますように。(Eさん)



無料法律相談会

毎月第1水曜日に開催している無料法律相談会は現在、コロナ感染拡大防止のため休止しています。ご相談がある場合は、久留米第一法律事務所をご紹介いたしますので、お気軽にお問い合わせください。(TEL0942-21-8300)



コロナ禍において来所が不安な方は電話相談も可能です。ただし内容によっては困難な場合もありますので、ご了承ください。

第16期 第19回 理事会の報告

開催日:2021年1月16日(土)
13:00~15:00

開催場所:組合員ルーム・Web会議
議題と決定状況

第1号議案「決議事項」

- I 原発事故10年目の取り組み
- II みなし自由脱退処理について

第2号議案「協議事項」

- I 2020年度まとめの基調と
2021年度スケジュール案
- II 緊急事態宣言を受けての
組合員活動について

第3号議案「報告確認事項」

- I 事業・決算報告
- II 総務報告
- III 組合員活動報告

第4号議案「その他」

以上の議題について、報告討論を行い全ての議題について全員一致で承認した。

毎年恒例のてくてくウォーキングは、
コロナ禍により開催しません。

わたしの趣味・楽しみ

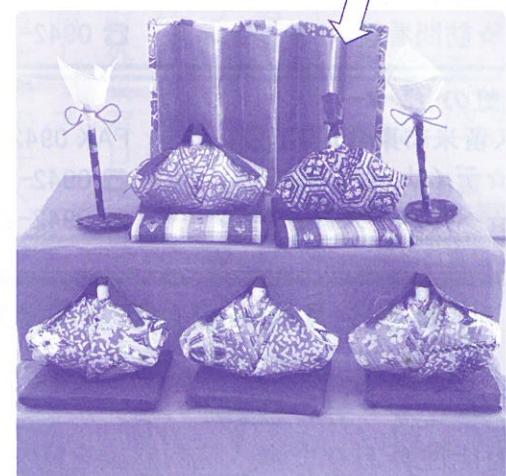
～手作りする楽しみ～

一言で言うと、手作りする楽しみ。30年間続けてきました。今は、友人たちと一緒に作っています。お互いの作品を見るのも楽しいです。下手や上手ではなく、それぞれに味があります。マスクや正月飾り、うちわやクラフトカゴなど、いろいろなものを作っていました。

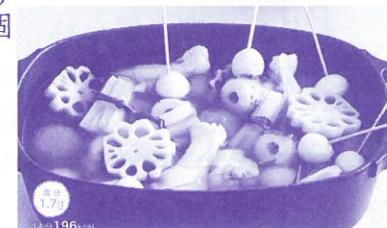
その中で、この“巻きびな”は、すぐれものです。小さな箱に、男びな、女びな、三人官女、びようぶ、ぼんぼりが入っていて、さっと出せて、さっとしまえます。顔はマッチ棒で出来ています。

手作りは同じように作っても、同じものはできません。世界にひとつだけのものです。

(東エリア・桐岡真理子)



◆材料(4人分)	
鶏手羽元	4本
れんこん	60g
にんじん	70g
大根	250g
小ねぎ	4本
うずらの卵	1/2本
(水煮)	5~6個
焼きちくわ	大1本
フルーツトマト	(湯むきする)
顆粒ブイヨン	小さじ1/2
水	3カップ
塩	小さじ2/3
こしょう	少量
粒入りマスター	ド適量
@	
①にんじんと大根は	4~5cm



◆作り方
①にんじんと大根は4~5cm長さの拍子木に切り、耐熱ボルに入れてふんわりとラップをかけ、電子レンジ(600W)で2分ほど加熱する。にんじんと大根を合わせて5~6本ずつ4等分にしてまとめて、それを小ねぎ1本でしつかりと結ぶ。
②れんこんは7~8mm厚さの花れんこんにして酢水に放す。ちくわは長さを5~6等分に切り、うずらの卵とともに竹串に刺す。
③なべに①と鶏肉を入れて強火にかけ、煮立つたらアクを除き、中火にして15分ほど煮る。①、②、ブイヨンを加えてさらに10~12分煮る。トマトを加えて2分ほど煮、塩とこしょうで味をととのえる。器に盛り、粒マスターを添える。



協力:
「別冊栄養と料理」
日本医療福祉生協連
女子栄養大学出版部

